

平成27年度入試

大学・短大・専門学校等合格者状況

〈平成28年3月卒業34期生と過年度卒業生〉 〈数字は、現役・浪人の推薦・一般入試の合計のべ人数〉

Table with 4 columns: 国公立大学, 現役 (一般, 推薦, 計), 卒業生 (一般, 推薦, 計), 合計. Rows include 滋賀県立大, 鳥取大, 水産大校, 華東師範大, 合計.

Table with 4 columns: 私立大学, 現役 (一般, 推薦, 計), 卒業生 (一般, 推薦, 計), 合計. Rows include 京都 (123, 55, 178), 同志社大, 立命館大, 龍谷大, 京都産業大, 佛教大, 京都女子大, 同志社女子大, 京都外国語大, 京都橘大, 京都文教大, 大谷大, 京都精華大, 京都造形芸術大, 京都光華女子大, 京都学園大, 京都看護大, 京都嵯峨芸術大, 大阪 (142, 128, 270), 関西大, 近畿大, 追手門学院大, 摂南大, 関西外国語大, 四天王寺大, 大阪工業大, 大阪経済大, 大阪経済法科大, 大阪産業大, 大阪国際大, 大阪大谷大, 大阪電機通信大, 大阪樟蔭女子大, 藍野大, 千里金蘭大, 四條畷学園大, 森ノ宮医療大, 大和大, 大阪青山大, 大阪体育大, ブール学院大, 兵庫 (7, 6, 13), 関西学院大, 武庫川女子大, 神戸学院大, 園田学園女子大, 甲子園大, 奈良 (4, 10, 14), 帝塚山学院大, 帝塚山大, 畿央大, 滋賀 (1, 1, 2), びわこ成蹊スポーツ大, 長浜バイオ大, 福岡 (3, 3, 3), 福岡大学, 合計 (276, 200, 477, 19, 8, 27, 504).

Table with 4 columns: 短期大学 (現役のみ), 推薦/AO, 一般, 合計. Rows include 京都 (12, 3, 15), 龍谷大学短期大学部, 京都文京短期大学, 華頂短期大学, 京都聖母学院短期大学, 大阪 (12, 5, 17), 近畿大学短期大学部, 関西外国語大学短期大学部, 大阪信愛学院短大, 大阪国際大学短期大学部, 大手前短期大学, 大阪成蹊短期大学, 奈良 (1, 1, 1), 白鳳女子短期大学, 合計 (25, 8, 33).

Table with 4 columns: 専門学校 (現役のみ), 推薦/AO, 一般, 合計. Rows include 医療 (23, 5, 28), 衛生 (5, 1, 6), 教育社会福祉 (2, 2, 2), 工業 (9, 3, 12), 商業実務 (2, 1, 3), 服装化成 (5, 5, 5), 文化教養 (6, 2, 8), その他 (1, 1, 1), 合計 (53, 12, 65).

*看護医療系の内訳

Table with 4 columns: 学校名, 推薦/AO, 一般, 合計. Rows include AST 関西医科専門学校 (2, 2, 2), パナソニック健康保険組合立松下看護愛仁会看護助産専門学校 (2, 2, 2), 関西医科大学付属看護専門学校 (3, 1, 4), 関西看護専門学校 (1, 2, 3), 京都医療専門学校 (1, 1, 1), 香里ヶ丘看護専門学校 (1, 1, 1), 新大阪歯科衛生士専門学校 (2, 2, 2), 森ノ宮医療学園専門学校 (2, 2, 2), 神戸医療福祉専門学校 (1, 1, 1), 大阪医療センター付属看護専門学校 (1, 1, 1), 大阪医療技術学園専門学校 (1, 1, 1), 大阪医療秘書福祉専門学校 (1, 1, 1), 大阪医療福祉専門学校 (1, 1, 1), 大阪歯科衛生士専門学校 (1, 1, 1), 大阪歯科大学歯科衛生士専門学校 (4, 4, 4), 大阪府病院協会看護専門学校 (1, 1, 1), 合計 (23, 5, 28).

Table with 2 columns: 公務員 (2), 就職 (3).

個別の大学では、近畿大が過去5年で一番の合格率であった。立命館大の合格者20は過去6年で最も多かった。そして進学者数が最も多かったのは龍谷大学で、続いて関大、近畿大、佛教大が同数であった。

3年生にとっては、『この夏休みをいかに過ごすか』ということが進路を左右する大きなポイントになります。クラブや行事に力を入れてきた人は、遅れた分を今から取り返すぞ、という気持ちを持つことが必要です。後回しにしてきた分を取り戻すためには、今からたっぷり時間を費やなくてはなりません。過去の先輩たちも、引退後は平日で4〜5時間、休日では8〜11時間くらいの学習時間が普通だったようです。また、直接のライバルである他校生のことを常に意識して学習することも大切です。君たちの受験は新課程3年目の入試となり、激化が予想されます。現役合格を目指し、最後までこつこつと頑張る姿勢を貫いてください。自分を信じて、最後まであきらめずに取り組んでください。健闘を祈ります。

進路概況

今春の進路状況について



①大学 家から通える大学の選択・チャレンジ受験の減少等は相変わらずであるが、好調な就職状況を受け、文系人気が復活した。一方で看護系、理学療法等の医療系、薬学部、管理栄養士を目指す学部、教育系学部など「資格系学部」の人気には陰りも見られるが、高い倍率で厳しい入試状況はそう変わっていない。

②大学入試センター試験の志願者は昨年より2万5千人ほど増加した。昨年の先行実施に続き、新課程が5教科で全面実施となる初のセンター試験であった。平均では国語が10点アップ、化学や数1Aはダウンし、特に理系において安全志向が強くなっていた。

③短期大学 志願者減と四年制に移行する学校の増加によって縮小傾向は続いているが、幼児教育や栄養などは人気を維持している。また看護系の短大は、一定の人気がある。いずれにせよ短期大学は、2年間でみっちり勉強して一定の知識と技術を身につけていかなければならないことを覚悟する必要がある。(看護系の短大は3年制である。)

④専門学校 昨年と同様に以下の点に注意が必要である。最近のAO入試や指定校推薦などの入試で、受験料免除や入学金の減額などを謳う学校が多いが、入学して授業を受けてみてがっかりすることもある。学校の十分な見極めが必要である。就職率が高くてその中身(就職先や就職の形態など)を見極める必要がある。また看護医療系の専門学校は、学力のみならず、コミュニケーション力が問われる。何度も面接練習をし、万全の態勢で臨むようにしたい。

本校の状況

①国公立大学合格者は4名(現役3名)、私立大学では関同立47名(現役40名)、産近甲龍15名(現役142名)という結果である。国公立大学の志願者自体が少ないのは、成績上位者が指定校に流れたり、下宿生活(地方の国公立大学)や、受験科目が多いことを忌避したりすることが一因である。

私立大学ではネット入試導入の大学が増え、ネット割引などで学内併願がしやすくなった一方で、他の同レベルの大学に目が向きにくくなってしまったため、1人当たりの出願数は増えているが、出願の大学数はそう増えていない。推薦入試においては、政府の定員超過の抑制強化を背景に合格者数が絞り込まれ、特に龍谷大などは厳しい結果となった。一方で、推薦入試では不合格者も多かったが、一般入試まで頑張った結果、3月に合格を勝ち取った例も多く、最後まで頑張ることの大切さ、また香里の生徒の底力を実感することができた。

3年生のみなさんへ

いった、という例がいくつかあり、センター併用で、近畿大、龍谷大、京産大、摂南大、大工大などへ合格し進学している。もちろんセンター試験のみで立命、龍谷大、佛教大、大経大へ合格した生徒もいる。最後の最後にセンターで合格し進学していった例もあり、センターはチャンスを広げる入試であることを踏まえて活用してもらいたい。

文化祭

9/9 金 9/10 土

PTA主催コーナーもあります。お楽しみに。

編集後記

広報委員9名でスタート致しました。 天気に恵まれた体育祭、生徒たちの真剣な眼差し、歓喜が伝われば嬉しく思います。